

2026年2月13日
スカイマーク株式会社

スカイマークと茨城県が包括連携協定を締結

茨城県(知事:大井川 和彦)とスカイマーク株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋 学)は、茨城空港の利用促進及び地域経済の活性化を図るとともに、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、県民サービスの向上と持続可能な地域社会の実現に資することを目的に、下記のとおり「包括連携協定」を締結しました。

記

1. 締 結 日 2026年2月13日(金)
2. 場 所 茨城空港
3. 署 名 者 茨城県知事 大井川 和彦
スカイマーク株式会社 代表取締役社長執行役員 本橋 学
4. 連携事項
 - (1)茨城空港を基軸とした観光振興及び航空需要の創出に関すること
 - (2)県産品の販路拡大に関すること
 - (3)茨城空港を基軸とした地域・産業振興及びイノベーションに関すること
 - (4)次世代を担う子ども達の育成及びスポーツ・文化振興に関すること
 - (5)環境型社会づくり及びサステナビリティ教育に関すること
 - (6)県政情報のPRに関すること
 - (7)災害時の輸送支援を通じた地域の安全・安心の確保に関すること
 - (8)その他、地域課題解決及び県民サービスの向上に関すること

5. 協定締結式における知事、社長の挨拶要旨

＜茨城県知事 大井川 和彦様＞

茨城空港の開港以来、国内線ネットワークの中核を担うパートナーとして、空港の利用促進に多大なるご協力をいただいているスカイマーク株式会社との包括連携協定締結を締結できたことは、大変心強く感じています。今回の協定締結を契機に一層緊密に連携し、県民の利便性向上を図るとともに、本県の魅力発信などにも積極的に取り組み、交流人口の一層の拡大に努めてまいります。

＜スカイマーク株式会社 代表取締役社長執行役員 本橋 学＞

昨年4月に就航15周年を迎え、累計搭乗者数700万人を突破し、茨城空港は当社にとってなくてはならない拠点です。本協定により茨城県との包括的な連携を深め、協力関係をより強固なものへと高めてまいります。当社のミッション※である「心のこもった快適なサービスの提供」を通じ、航空需要の創出や県産品の販路拡大、次世代育成などに幅広く貢献し、茨城県の皆様と共に、より一層の飛躍と発展を目指してまいります。

※スカイマークの「Mission・Vision・Value」については、弊社ホームページ(<https://www.skymark.co.jp/ja/company/philosophy.html>)をご覧ください。

6. 協定締結式の様子



左から、当社客室乗務員、取締役専務執行役員 荒牧 秀知、茨城県知事 大井川 和彦様、
代表取締役社長執行役員 本橋 学、執行役員 奥野 哲也、当社地上旅客職員



協定書署名により締結



スカイマークカウンター前 梅の木装飾前での写真

以上

(ご参考) スカイマーク「空で味わう就航地」について



スカイマークでは機内サービスのコンセプトを「空で味わう就航地」とし、就航地の機内ドリンクの提供や、お菓子の販売を行っています。

茨城県からは「さしま茶」を、機内ドリンクとして提供しています。

スカイマークの茨城空港発着路線概要

路線	運航便数 (2025年冬ダイヤ期間: 2025年10月26日～2026年3月28日)
茨城＝神戸	3往復6便/日
茨城＝札幌(新千歳)	2往復4便/日
茨城＝福岡	2往復4便/日
茨城＝那覇	1往復2便/日

路線	運航便数 (2026年夏ダイヤ期間: 2026年3月29日～2026年10月24日)
茨城＝神戸	3往復6便/日
茨城＝札幌(新千歳)	2往復4便/日
茨城＝福岡	2往復4便/日※
茨城＝那覇	1往復2便/日

※茨城＝福岡線は、2026年6月19日(金)～10月24日(土)の期間中は1往復2便/日運航